

# 三重県教育改革推進会議

## 第 1 分科会参考資料集

### ■ 学力向上に向けた学校の組織的な取組 (P 1 ~ P 1 1)

資料 4 - 1 全国学力・学習状況調査について

4 - 2 全国学力・学習状況調査 (平成 1 9 ~ 2 2 年度 4 年間の比較)

4 - 3 平成 2 2 年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙からみえる子どもの姿

4 - 4 平成 2 2 年度全国学力・学習状況調査学校質問紙からみえる学校の姿

4 - 5 コミュニティ・スクール

4 - 6 コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) 三重県内の状況

4 - 7 学校支援地域本部事業

4 - 8 平成 2 3 年度三重県内における学校支援地域本部事業の実施状況

4 - 9 市町における取組例

(1) 「学びのサポート学力向上事業『菰サポ』」(菰野町)

(2) 家庭学習の手引き (志摩市)

### ■ 教員の指導力の向上に向けた取組 (P 1 4)

資料 4 - 10 教員の指導力の向上に向けた取組について

### ■ 少人数教育の推進 (P 1 5)

資料 4 - 11 少人数教育の推進について

# 1 全国学力・学習状況調査について

※全国学力・学習状況調査パンフレット（文部科学省）より

## 1 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

## 2 調査の対象学年

小学校第6学年、中学校第3学年

## 3 調査方法（平成22年度調査の場合）

- ・抽出調査・・・都道府県毎に平均正答率が95%の確率で誤差1%以内となるよう抽出率（全国の抽出率は約30%）を設定（学校単位でのランダム抽出）。
- ・希望利用方式・・・抽出調査対象外の学校は、学校の設置管理者の希望により、調査を利用することができる（採点等は、学校の設置管理者の責任と費用負担で行う。）。

## 4 調査の内容

### ①教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 （国語A、算数・数学A）	主として「活用」に関する問題 （国語B、算数・数学B）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li> <li>・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容</li> <li>・様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力などにかかわる内容 など</li> </ul>

### ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

## 2 全国学力・学習状況調査(平成19~22年度 4年間の比較)

## ○ 三重県の状況

## 【小学校】

- ・国語、算数ともに、主として「知識」に関する問題(A問題)及び主として「活用」に関する問題(B問題)ともに、全国の平均正答率(平成22年度は、平均正答率の95%信頼区間)を下回る結果となり、基礎的・基本的な知識・技能の定着とともにそれらを活用する力に課題がみられる。

## 【中学校】

- ・国語においては、主として「知識」に関する問題(A問題)及び主として「活用」に関する問題(B問題)ともに、全国の平均正答率(平成22年度は、平均正答率の95%信頼区間)を下回る結果となり、基礎的・基本的な知識・技能の定着とともにそれらを活用する力に課題がみられる。
- ・数学においては、主として「知識」に関する問題(A問題)は、全国の平均正答率(平成22年度は、平均正答率の95%信頼区間)を上回っているが、主として「活用」に関する問題(B問題)は、全国の平均正答率(平成22年度は、平均正答率の95%信頼区間)を下回る結果となり、知識・技能を活用する力に課題がみられる。

		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度(抽出調査)	
		平均正答率		平均正答率		平均正答率		平均正答率の95%信頼区間 (平均正答率の推計値±誤差の幅)	
		全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県
小学校	国語A	81.7 <-1.1>	80.6	65.4 <-2.5>	62.9	69.9 <-2.1>	67.8	83.2~83.5 (83.3±0.2)	80.9~82.5 (81.7±0.8) <-1.6>
	国語B	62.0 <-2.0>	60.0	50.5 <-3.4>	47.1	50.5 <-3.6>	46.9	77.7~78.0 (77.8±0.2)	74.2~76.2 (75.2±1.0) <-2.6>
	算数A	82.1 <-1.0>	81.1	72.2 <-1.3>	70.9	78.7 <-2.7>	76.0	74.0~74.4 (74.2±0.2)	71.5~73.4 (72.4±1.0) <-1.8>
	算数B	63.6 <-2.2>	61.4	51.6 <-1.9>	49.7	54.8 <-2.3>	52.5	49.1~49.5 (49.3±0.2)	46.5~48.2 (47.3±0.9) <-2.0>
中学校	国語A	81.6 <0.0>	81.6	73.6 <-1.0>	72.6	77.0 <-1.1>	75.9	75.0~75.2 (75.1±0.1)	73.5~74.7 (74.1±0.6) <-1.0>
	国語B	72.0 <-1.0>	71.0	60.8 <-1.4>	59.4	74.5 <-1.2>	73.3	65.1~65.5 (65.3±0.2)	63.3~65.0 (64.1±0.9) <-1.2>
	数学A	71.9 <+1.2>	73.1	63.1 <+0.6>	63.7	62.7 <0.0>	62.7	64.4~64.8 (64.6±0.2)	64.3~66.4 (65.4±1.1) <+0.8>
	数学B	60.6 <0.0>	60.6	49.2 <+0.1>	49.3	56.9 <-0.4>	56.5	43.1~43.5 (43.3±0.2)	41.7~43.8 (42.8±1.1) <-0.5>

---

※平成22年度の抽出調査における全国及び本県（公立）の結果については、誤差を含めた数値の幅「平均正答率の95%信頼区間」（95%の確率で、全員を対象とした調査（悉皆調査）の場合の平均正答率が含まれる範囲）で示しています。また、下段の（ ）内については、この区間を「平均正答率の推計値±誤差の幅」により表したものです。  
※〈 〉内の数値は、（三重県の平均正答率）－（全国の平均正答率）の値です。

## 3 平成22年度全国学力・学習状況調査

## 児童生徒質問紙調査からみえる子どもの姿

## ○ 三重県の子どもたちの状況(全国との比較)

- ・学校で友達に会うのは楽しいと思うと回答した児童生徒の割合が高く、好きな授業があると回答した児童生徒の割合も高い。
- ・普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思うと回答した児童生徒の割合が高く、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思うと回答した児童生徒の割合も高い。
- ・家庭で、4時間以上テレビ等を見たり聞いたりしていると回答した児童生徒の割合が高く、学校が休みの日に、1日あたり2時間以上勉強していると回答した児童生徒の割合が低い。また、授業の復習や苦手な教科の学習をしていると回答した児童生徒の割合が低い。
- ・解答を文章で書く問題について、最後まで解答を書こうと努力したと回答した児童生徒の割合が低い。

## ○ 優位にある項目(全国平均との比較)

質問に対して肯定の回答の割合

質問事項		三重県	小学校	中学校
子どもの思い・状況	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか	三重県 70.2 秋田県 73.2 福井県 69.8 全国 69.6	70.2	67.5
	家の人と普段(月～金曜日)、夕食を一緒に食べていますか	三重県 73.2 秋田県 77.3 福井県 74.2 全国 71.4	73.2	60.6
	学校で友達に会うのは楽しいと思いますか	三重県 84.1 秋田県 84.4 福井県 84.4 全国 83.5	84.1	79.1
	学校で好きな授業がありますか	三重県 81.2 秋田県 80.7 福井県 83.1 全国 80.1	81.2	58.5
	今住んでいる地域の行事に参加していますか	三重県 37.9 秋田県 45.1 福井県 44.8 全国 31.9	37.9	13.3
	授業中の様子	三重県 47.0 秋田県 49.2 福井県 49.4 全国 45.6	47.0	35.2
	三重県 32.6 秋田県 41.2 福井県 35.8 全国 32.5	32.6	17.8	

## ○ 要改善項目(全国平均との比較)

質問に対して肯定の回答の割合

質問事項		三重県	小学校	中学校
家庭生活	普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(「4時間以上」)	三重県 25.9 秋田県 20.2 福井県 20.8 全国 22.8	25.9	21.3
	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか(「1時間以上」)	三重県 54.6 秋田県 64.7 福井県 51.5 全国 58.2	54.6	65.1
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか(「2時間以上」)	三重県 17.7 秋田県 26.3 福井県 20.0 全国 23.5	17.7	29.6
家庭学習	家で学校の授業の予習をしていますか	三重県 14.2 秋田県 22.4 福井県 11.9 全国 15.1	14.2	9.4
	家で学校の授業の復習をしていますか	三重県 15.6 秋田県 54.9 福井県 16.5 全国 19.2	15.6	10.2
	家で苦手な教科の勉強をしていますか	三重県 16.7 秋田県 32.2 福井県 16.8 全国 20.2	16.7	10.9
思考力・表現力	400字づめ原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思いますか	三重県 43.5 秋田県 37.1 福井県 40.4 全国 35.4	43.5	47.9
	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいと思いますか	三重県 30.5 秋田県 26.7 福井県 28.3 全国 27.5	30.5	41.2
ねばり強さ	解答を文章で書く問題について、それらの問題を最後まで解答を書こうと努力しましたか	三重県 67.5 秋田県 85.0 福井県 79.0 全国 72.6	67.5	63.9

## 4 平成22年度全国学力・学習状況調査

## 学校質問紙調査からみえる学校の姿

## ○ 三重県の学校の状況(全国との比較)

- ・授業研究を伴う校内研修を、年間11回以上実施したと回答した学校の割合が高い。
- ・全国学力・学習状況調査の調査問題を授業で活用したり、学力向上の取組について保護者や地域の人たちに対して働きかけを行ったと回答した学校の割合が低い。
- ・家庭学習の課題について、評価・指導を行ったり、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしていると回答した学校の割合が低い。

## ○ 優位にある項目(全国平均との比較)

質問に対して肯定の回答の割合

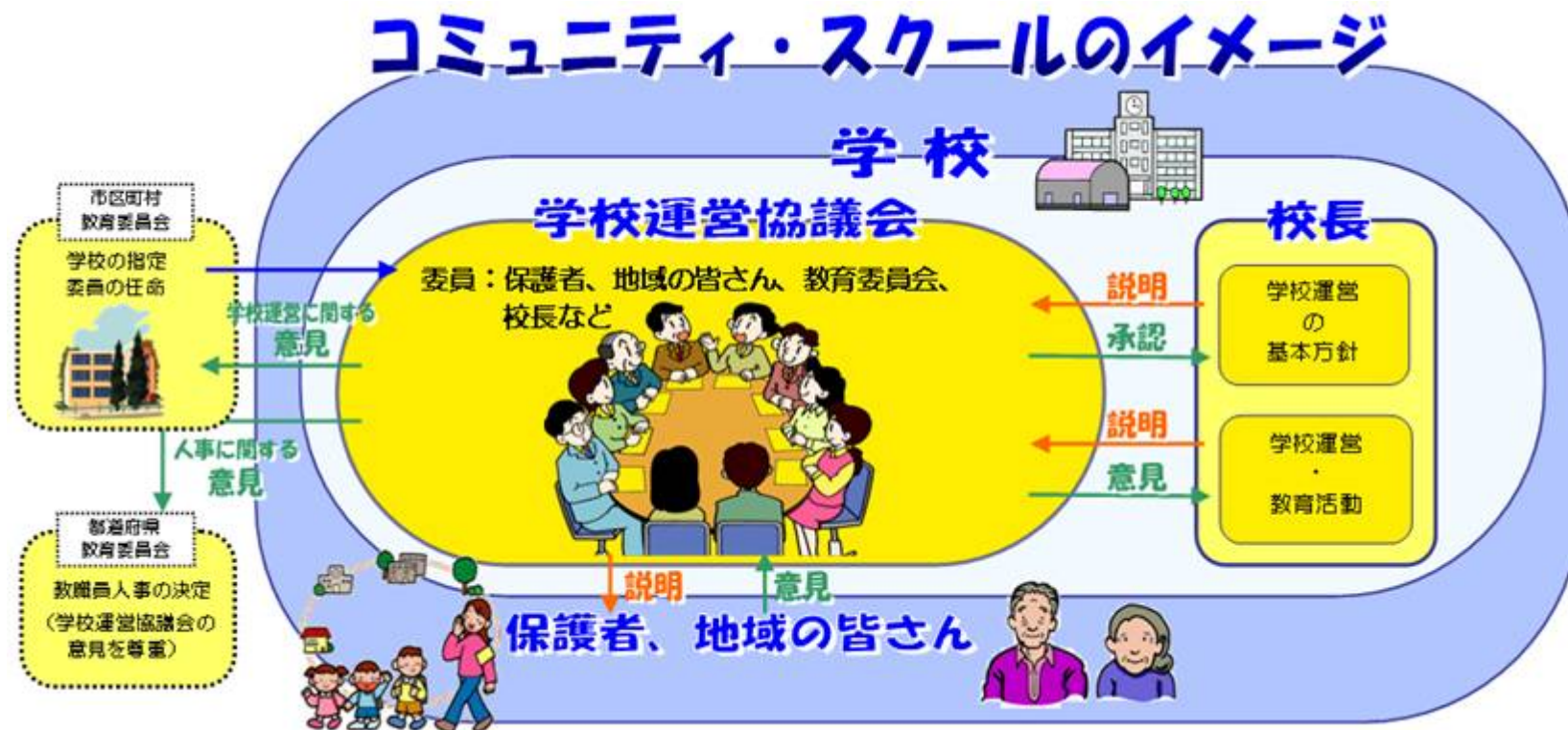
質問事項	質問に対して肯定の回答の割合		
		小学校	中学校
学力向上に向けた取組 「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	三重県	39.1	81.3
	秋田県	59.4	82.7
	福井県	42.8	65.8
	全国	19.4	64.1
教員研修 授業研究を伴う校内研修を前年度、何回実施しましたか(年間11回以上)	三重県	39.1	15.1
	秋田県	8.1	5.6
	福井県	15.8	9.9
	全国	21.5	10.3
教職員の取組 学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか	三重県	55.9	49.0
	秋田県	64.5	65.2
	福井県	71.2	70.6
	全国	55.1	45.2

## ○ 要改善項目(全国平均との比較)

質問に対して肯定の回答の割合

質問事項	質問に対して肯定の回答の割合		
		小学校	中学校
調査結果の活用 平成21年度全国学力・学習状況調査の結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用しましたか	三重県	82.5	79.3
	秋田県	99.0	97.1
	福井県	96.7	97.6
	全国	93.9	91.5
調査結果の活用 平成21年度全国学力・学習状況調査の調査問題を平成21年度において、第6学年・第3学年や他学年の授業の中で活用しましたか	三重県	40.8	37.4
	秋田県	99.0	94.0
	福井県	63.4	70.8
	全国	61.3	54.2
調査結果の活用 平成21年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか	三重県	53.4	55.7
	秋田県	94.1	89.8
	福井県	66.5	51.6
	全国	74.6	71.3
調査結果の活用 平成21年度調査や学校評価の結果等を踏まえた学力向上の取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	三重県	53.4	47.7
	秋田県	85.1	78.0
	福井県	71.3	56.5
	全国	74.2	66.8
指導方法 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行いましたか	三重県	24.2	40.7
	秋田県	30.5	35.0
	福井県	39.6	46.5
	全国	28.3	31.7
指導方法 国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	三重県	17.5	22.2
	秋田県	15.8	24.8
	福井県	20.5	22.2
	全国	20.8	21.2
指導方法 算数・数学の指導として、補充的な学習の指導を行いましたか	三重県	25.9	23.4
	秋田県	38.7	34.6
	福井県	23.7	51.0
	全国	28.9	25.4
家庭学習や家庭との連携 算数・数学の指導として、児童に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行いましたか	三重県	44.9	44.2
	秋田県	66.3	68.2
	福井県	71.4	68.6
	全国	57.2	49.9
家庭学習や家庭との連携 算数・数学の指導として、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	三重県	32.4	16.4
	秋田県	57.5	23.2
	福井県	39.6	19.6
	全国	46.5	21.2
家庭学習や家庭との連携 算数・数学の指導として、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っていますか	三重県	18.3	20.9
	秋田県	57.6	42.2
	福井県	23.5	58.3
	全国	33.1	27.7
家庭学習や家庭との連携 家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしていますか	三重県	18.3	17.5
	秋田県	52.6	37.8
	福井県	34.9	36.6
	全国	27.7	22.9
学校経営 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか(「ほぼ毎日」「週に2から3日」)	三重県	62.4	52.3
	秋田県	97.0	94.1
	福井県	87.3	70.4
	全国	83.5	68.9

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、地域の公立学校の運営に保護者、地域の皆さんの声を生かす仕組みです。コミュニティ・スクールには、保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設けられ、学校運営協議会が学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりすることを通じて、保護者、地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができます。



※コミュニティ・スクールは、小・中学校はもちろん、幼稚園や高等学校などの地域の公立学校に導入可能です。導入するかどうかは、学校、保護者や地域の皆さんの意向等を踏まえて、学校を設置する地方公共団体の教育委員会が決定します。

# 資料 4 - 6

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）三重県内の状況  
(H23年6月1日現在)

学校運営協議会を設置する学校（指定年月日）

小学校（35校）	津市立南が丘小学校（H17年12月26日） いなべ市立立田小学校（H19年6月1日） いなべ市立石樽小学校（H19年6月1日） 御浜町立尾呂志学園小学校（H20年5月1日） 鈴鹿市立小学校 全30校（H23年4月1日） 志摩市立鶴方小学校（H23年5月1日）
中学校（14校）	津市立朝陽中学校（H19年5月1日） 御浜町立尾呂志学園中学校（H20年5月1日） 伊勢市立厚生中学校（H21年10月22日） 伊賀市立城東中学校（H22年10月1日） 鈴鹿市立中学校 全10校（H23年4月1日）
高等学校（1校）	三重県立紀南高等学校（H19年6月1日）

計 50 校

○ 上記学校では、すべての学校で、地域の人材を活用した学習支援活動に取り組んでいます。

<学習支援のおもな事例>

- ・ 授業における指導支援
- ・ 長期休業中や放課後における学習支援、体験講座など
- ・ ゲストティーチャー（総合的な学習の時間でテーマを設けて講話など）
- ・ 図書館ボランティア（読み聞かせ等）

(参考)

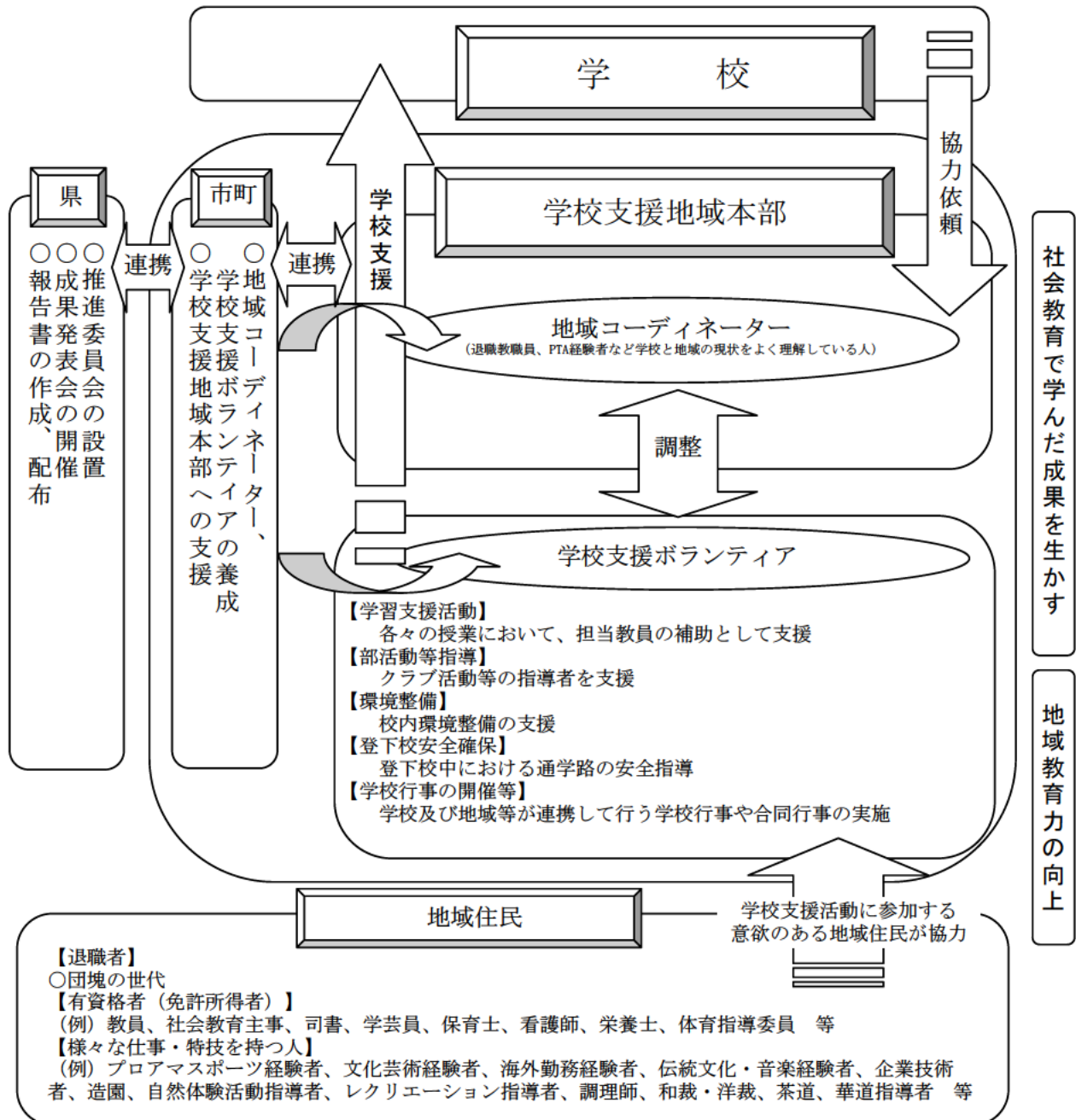
平成 23 年度文部科学省 調査研究校一覧

小学校（4校）	亀山市立加太小学校（2年目） 鈴鹿市立明生小学校（新規） 松阪市立第四小学校（新規） 松阪市立港小学校（新規）
中学校（2校）	鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校（新規） 松阪市立鎌田中学校（新規）
高等学校（1校）	県立白山高等学校（新規）

計 7 校



## 7 学校支援地域本部事業



## 8 平成 23 年度三重県内における学校支援地域本部事業の実施状況

	学校支援地域本部事業実施校数	学習支援活動校数
小学校 (77校)	津市立小学校 7 校	7 校
	松阪市立小学校 17 校	14 校
	鈴鹿市立小学校 30 校	30 校
	名張市立小学校 17 校	17 校
	明和町立小学校 6 校	6 校
中学校 (18校)	津市立中学校 2 校	2 校
	鈴鹿市立中学校 10 校	10 校
	名張市立中学校 5 校	0 校
	明和町立中学校 1 校	0 校

計 95 校

## (参考)

学校支援地域本部事業の実施校

津市

(小学校) 高野尾、高茶屋、村主、大井、明、大三、南が丘

(中学校) 一身田、朝陽

松阪市

(小学校) 第一、第二、第四、幸、松江、伊勢寺、松ヶ崎、阿坂、東黒部、大河内、山室山、徳和、豊田、天白、鶺鴒、小野江、米ノ庄

鈴鹿市

(小学校) 全 30 校

(中学校) 全 10 校

名張市

(小学校) 全 17 校

(中学校) 全 5 校

明和町

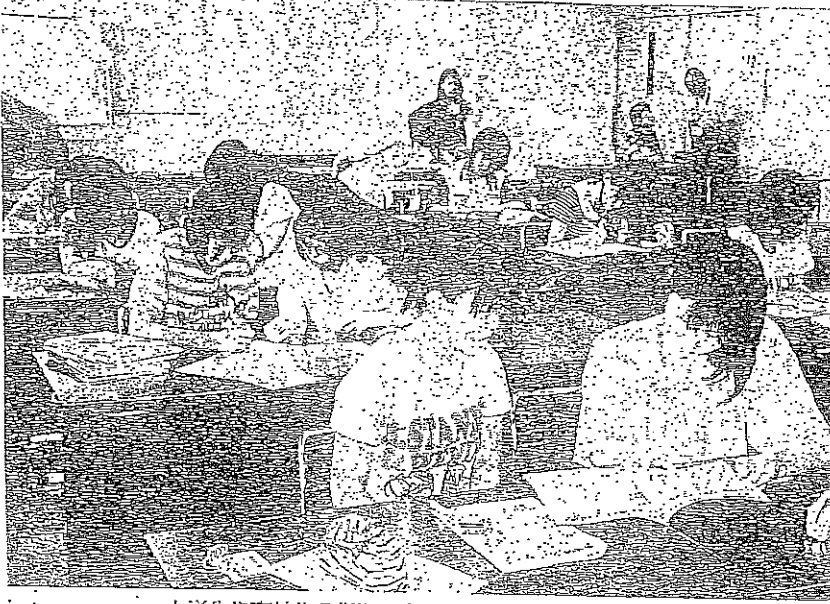
(小学校) 全 6 校

(中学校) 全 1 校

### 9 市町における取組例

(1) 「学びのサポート学力向上事業『菰サポ』」(菰野町)

## 菰野町、学力向上事業スタート



大学生や高校生の指導で学習する中学生ら—菰野町で

# 地元出身学生らが先生

## 中学生に勉強教える

【三重県】菰野町出身の大学生や高校生が「学力向上応援団」として町内中学生に勉強を教えるという、同町の新事業「学びのサポート」が十五日、菰野、朝上南地区のコミュニティセンターで始まった。土曜日を除く二十六日まで、十日間、事前応募した中学生延べ四十一人が午後一時から二時間、町の先輩から問題の解き方や学習法などを教わる。

応援団の内訳は、県内をはじめ関東や関西、愛知県大学の学生九人と四日市

わけて十一人。大学生のうち八人は町内の顔ぶれを離れて生活しているが、同事業で応援団事業を家族を通して知って応募した。面接した町教育委員会では、町役で立ちたいという思いで参加してくれたという。

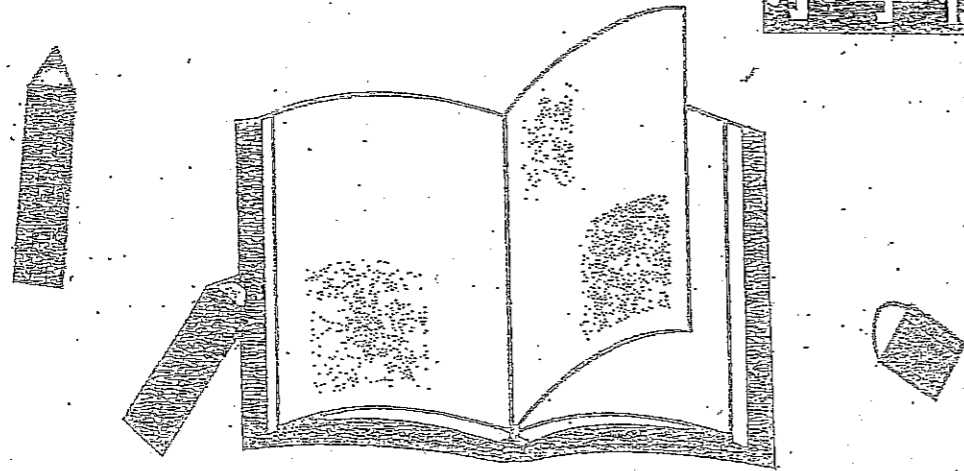
「参加した中学生が、大学生になって指導役になってくれるような地域に根差した事業でいきたい」としている。十五、十六日の両日は名古屋大一年の山川将人さん(21)が自身の体験から数学を解く面白さを特別講義する一幕も。休憩時間には、先生と生徒が和気あいあいと笑顔で話し、交流を楽しんでいた。

【平成23年8月17日(水)伊勢新聞】

(2) 家庭学習の手引き(志摩市)

# 家庭学習の手引き

小学校用



志摩市教育委員会  
志摩市学力向上検討委員会

## 保護者様へ

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身につけるため、また、自ら学ぶ習慣を身につけるためとても大切なものです。

そこで、志摩市版「家庭学習の手引き」を作成しました。充実した家庭学習にするために、ご協力よろしくお願いします。

## 家庭学習の目的

学習の習慣化

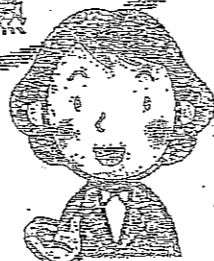
自分で学ぼうとする意欲の育成

学習したことの定着

習熟

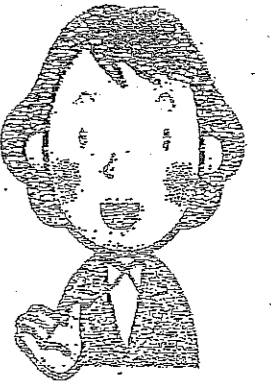
このようなかわりを！

- ・子どもの姿を見守り、励ましを！
- ・規則正しい生活で生活リズムを整えて！ 早寝・早起き・朝ご飯！
- ・学習しやすい環境づくりを！ ゲーム、パソコン使用はルールを決める！



1・2年生は基本的な学習習慣を身につけることが大切です！

- ・学習しやすい環境づくりをお願いします。(テレビは消す、机の上を整とん、正しい鉛筆の持ち方や良い姿勢に気をつけましょう。)
- ・学習中はできるだけ見守ってください。
- ・最後までやり通すよう働きかけをお願いします。
- ・がんばりを見て、ほめましょう。



## 低学年(1・2年生)



### <がくしゅう中のやくそく>

テレビはけしましょう。

がくしゅう中は、立ち歩かないようにしましょう。

### <がくしゅうのしかた>

- ① はじめに、学校のしゅくだいをしましょう。
- ② 時間があつたら、じしゅがくしゅうをしましょう。

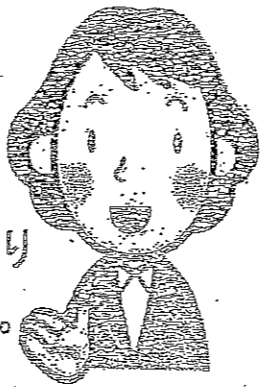
(じしゅがくしゅうのれい)

- ・教科書を音読する。
- ・ひらがな、カタカナ、かん字などをていねいに書く。
- ・教科書の計算をもう一どする。
- ・まちがったもんだいをもう一どする。
- ・教科書のならったところを読む。
- ・日記を書く。
- ・本を読む。

- ③ おわつたら、あすのじゅんびをしましょう。

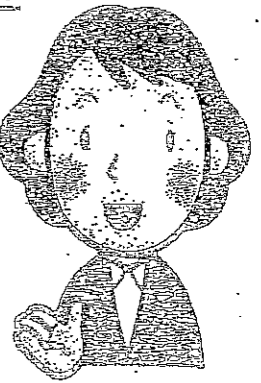
3・4年生は自ら机に向かう姿勢を育てることが大切です。

- ・学習しやすい環境づくりをお願いします。(テレビは消す、机の上を整頓しましょう。)
- ・自分から机に向かうよう、そして、自主学习にも取り組むよう励ましの言葉や温かい助言をお願いします。
- ・がんばりを認め、しっかりほめましょう。



5・6年生は自分で学習を進める姿勢を育てることが大切です。

- ・学習しやすい環境づくりをお願いします。
- ・まちがったこと、苦手なことにもねばり強く取り組むよう助言をお願いします。
- ・目標を決めて努力できるように温かく見守りながら、ほめたり、励ましたりしましょう。



## 中学年 (3・4年生)



### <学習中のやくそく>

テレビは消しましょう。  
学習中は、立ち歩かず、集中しましょう。  
何時まで学習するか、決めましょう。



### <学習のしかた>

- ① はじめに、学校の宿題をしましょう。
- ② できるだけ、自主学习をしましょう。

(自主学习の例)

- ・教科書を正かくに音読する。
- ・漢字の練習をする。
- ・国語辞典で意味を調べる。
- ・教科書の計算問題をもう一度する。
- ・まちがった問題をもう一度する。
- ・教科書の習ったところを読んで、大切なことをノートに書く。
- ・日記をつづけて書く。
- ・いろいろな本を読む。

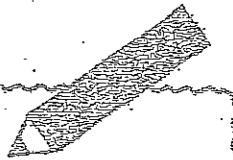
- ③ 終わったら、明日のじゅんびをしましょう。

## 高学年 (5・6年生)



### <学習中のやくそく>

テレビは消しましょう。  
学習中は、立ち歩かず、集中しましょう。  
何時まで学習するか、決めましょう。



### <学習のしかた>

- ① はじめに、学校の宿題をしましょう。
- ② 自主学习をしましょう。

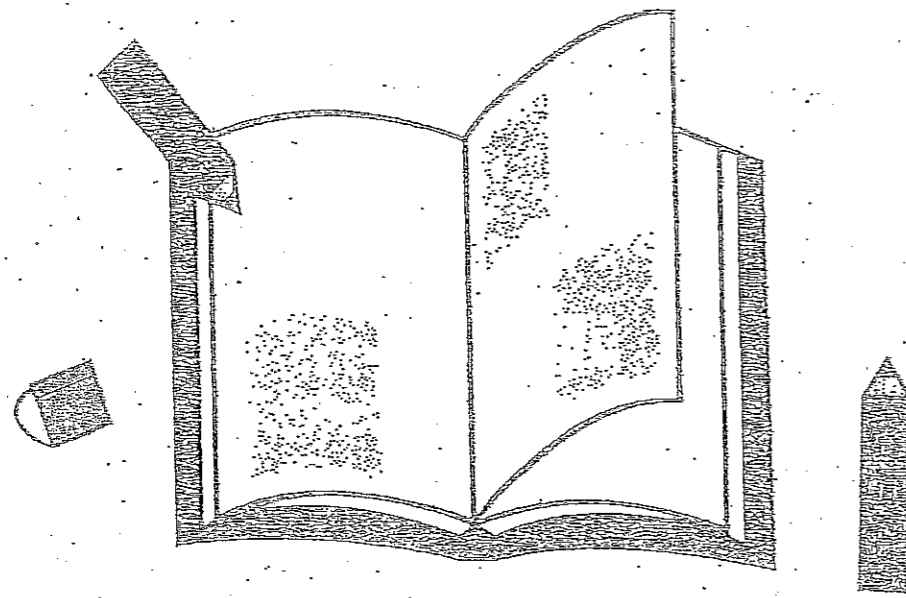
(自主学习の例)

- ・教科書を正確に音読する。
- ・漢字の練習をする。その漢字を使って、言葉や短い文を作る。
- ・分からない言葉を辞典で調べ、それを使って文を作る。
- ・教科書の計算問題をもう一度する。
- ・まとめ方や計算の方法をノートに書き、覚える。
- ・まちがった問題をもう一度する。
- ・教科書を見て、習ったところを読んでノートにまとめたり次に習うところを読んだりする。
- ・気持ちや考えを整理して日記を書く。
- ・本や新聞などを読む。

- ③ 終わったら、明日の準備をしましょう。

# 家庭学習の手引き

中学校用



志摩市教育委員会  
志摩市学力向上検討委員会

## 中学1・2年生

「計画的に学習する力」をつけましょう。



- まず、規則正しい生活を!
- 自分で計画を立ててする
- 毎日、決まった時間に、同じ場所でする
- 「～ながら学習」はしない

### <家庭学習のポイント>

その1 最初にまず「宿題」!

- ・まず、その日の宿題をしましょう。

その2 予習をして授業、復習に重点を!

- ・教科書を読み、自分で調べたり、考えたりして授業に臨みましょう。課題意識も高まり、授業に集中できます。
- ・その日のうちに、教科書やノート、プリントで学習のポイントを整理し、内容を覚えましょう。

その3 根気強く取り組もう!

- ・わからないときはわかるまで戻り、やり直しましょう。
- ・間違ったところも、もう一度見直ししましょう。

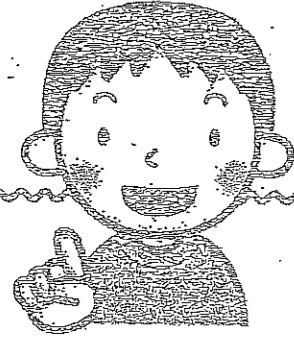
### <具体的な学習内容例>

- 教科書を読み、習ったことをノートにまとめ、覚える。
- 重要な語句、用語等についてノートに書き、覚える。
- 漢字、熟語、単語、文型、公式等を繰り返し書いて練習する。
- わからない語句、単語の意味を辞書で調べる。
- 習った問題をもう一度する。同じ種類の問題を問題集でする。
- 苦手な教科は、まず教科書を読むことから始める。
- 新聞を読んだり、読書をしたりして読む力を伸ばそう。

※それぞれの教科の学習の仕方は教科担任の先生に聞きましょう。

「目標」をもって学習しましょう。

部活引退後は、帰宅してから夕食までの時間が長くなり、生活リズムが乱れがち。もう一度生活習慣の点検を！



- まず、規則正しい生活を！
- 計画的に時間を使う！
- 家族との会話を大切に！

＜家庭学習のポイント＞

その1 まずは宿題！

- ・まず、その日の宿題をしましょう。

その2 授業を振り返る！

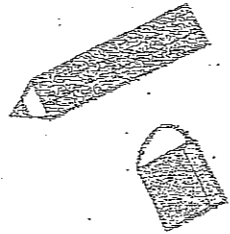
- ・詳しく知りたいこと、わかりにくかったことは教科書や参考書で確かめましょう。
- ・国語の漢字や言葉、英語の単語や文型、数学の公式は繰り返し書いて覚えましょう。
- ・社会や理科では、重要な語句や用語をノートにまとめ、覚えましょう。

その3 テストをめやすに計画を立てる！

- ・定期テストや実力テストの予定を確かめ、学習計画を立てカレンダーなどに書き込みましょう。
- ・計画的に学習に取り組めたら、カレンダーにチェックしましょう。

その4 進路について目標をもち学習に取り組む！

- ・試験科目の中で特に不得意な教科の学習に力を入れましょう。
- ・1・2年生の学習内容を計画的に復習しましょう。



保護者様へ

子どもたちに「確かな学力」を身に付けさせるためには、学習環境や生活習慣の見直しを図ることが大切です。それには、学校での学習に加え、家庭での学習の習慣化が大切になります。そこで、志摩市版「家庭学習の手引き」を作成しました。充実した家庭学習にするために、ご協力よろしくお願い致します。

＜このようなかかわりをお願いします！＞

○「安らぎ」と「支え」をお願いします。！

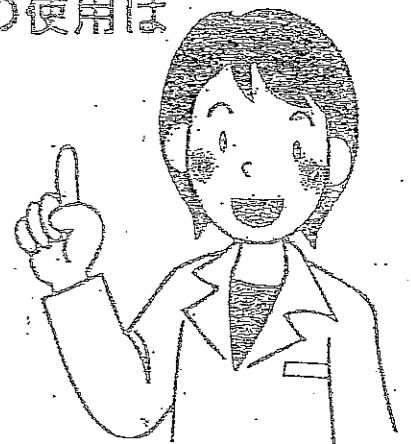
- ・助言や励まし、ときには、自らの経験を伝えてあげてください。
- ・受験が近づくと、不安が募りやすくなります。子どもの将来の夢や希望、就職や進学について話し合ってください。

○学習環境に配慮してください！

- ・家庭学習を行う場所の環境に配慮をしてください。
- ・決まった時間机に向かう習慣をつけるために、夕食やテレビ視聴時間等、家族の協力をお願いします。
- ・テレビ、ゲーム、パソコン・携帯電話等の使用は家族でルールを決めるようにしましょう。

○生活習慣に配慮してください！

- ・「早寝、早起き、朝ご飯」に心がけましょう。



## 10 教員の指導力の向上に向けた取組について

(H23年度実施分)

### ○授業づくりについての研修

- ① 悉皆研修（初任研、5年研・10年研）を活用した「授業実践研修」  
教職経験の異なる教員が研修班に分かれ、授業研究を通して、継続的な相互研鑽による授業改善を図るとともに、授業力の向上をめざす。
- ② 教科等研修における希望研修  
「授業づくり」というくくりで初任者等経験年数の少ない教員を対象とした基本的な教科指導力の育成をめざした研修として7講座を実施。
- ③ ネットDE研修（eラーニングによる研修）  
「授業力向上」というくくりで12講座、「教科指導等」というくくりで39講座を三重県内公立学校教職員対象にインターネットにて配信
- ④ 市町教育研究所等との連携によるブロック別研修  
授業づくり、教科指導等について37講座を実施。

### ○学級経営についての研修

- ① ネットDE研修（eラーニングによる研修）  
「学級経営」というくくりで12講座を配信。
- ② 市町教育研究所等との連携によるブロック別研修  
学級づくり、集団づくりについて2講座を実施。

### ○大学と連携した研修

- ① 各種研修講座における講師、助言者  
三重大学と連携し、授業実践研修、教科等研修などにおいて講師、助言者として15名（延べ40回：平成22年度実績）に専門的・先進的な内容で指導いただいた。
- ② 内地留学等  
大学院教育学研究科や各種内地留学については、教員の資質向上を図るため、今後も大学と連携を密にして実施する。



## 1 1 少人数教育の推進について

### 1 本県の少人数教育の考え方と平成 23 年度の実施概要

児童生徒一人ひとりの実態や各学校の課題に応じたきめ細かな教育を推進し、基本的な生活習慣や学力の確かな定着・向上を図るため、30人学級等の少人数学級編制と、特定の教科における少人数授業の両面で取組を行っています。

- ① 小学校 1 年生の 35 人学級  
国の学級編制標準の見直しを受け、小学校 1 年生の 35 人学級を実施
- ② 小学校 1, 2 年生の 30 人学級  
小学校 1 年生の 35 人学級編制のもとで、小学校 1, 2 年生の 30 人学級(下限 25 人)を継続して実施
- ③ 中学校での 35 人学級の弾力的実施  
中学校 1 年生の 35 人学級(下限 25 人)を引続き実施し、各学校の実情に応じ、2, 3 年生に振り替えられる制度を継続
- ④ 少人数授業のための教員配置  
小中学校で、少人数授業などを実施するための教員配置を継続

#### ○ 少人数教育に係る定数と非常勤講師の配置状況 (平成 23 年度)

	定 数	非常勤
小学校	314	185
中学校	234	80
計	548	265

#### ○ 少人数学級の状況 (特別支援学級は除く)

	全学級数	30 人 (中 1 は 35 人) 以下の学級数	割 合
小学校 1 年生	673	594	88.3%
小学校 2 年生	673	585	86.9%
中学校 1 年生	563	521	92.5%

### 2 本県における少人数教育の歩み

	H15	H16	H17	H18	H19～H22	H23
小学校	1 年 30 人学級 (下限 25 人)	1・2 年 30 人学級 (下限 25 人)			→	1 年 国 35 人学級 +1・2 年 30 人学級 (下限 25 人)
中学校	—	—	1 年 35 人学級 (下限 25 人)	1 年 35 人学級 (下限 25 人) ※2, 3 年生へ の振替可	→	
小学校 中学校	少人数授業 などを実施 するための 教員を配置				→	